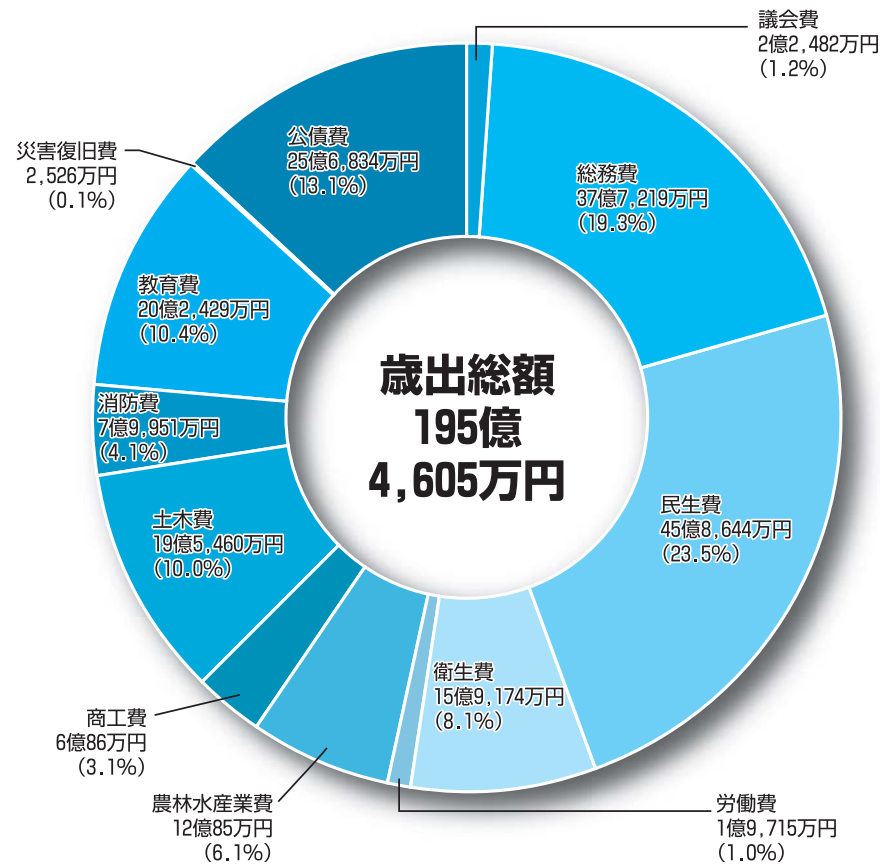


## 平成23年度一般会計歳出内訳



歳出総額  
195億  
4,605万円

### ■ 歳出のあらまし ■

23年度の一般会計歳出(支出)の合計は、195億4,605万円でした。その中で最も多かったのは、民生費の45億8,644万円(23.5%)、次いで総務費の37億7,219万円(19.3%)、公債費の25億6,834万円(13.1%)などの順となりました。22年度と比べると、歳出全体で17億8,724万円増え、歳入同様、合併後最も大きい額となりました。

歳入から歳出を差し引いた額は5億5,582万円、24年度に繰り越した事業の財源3,473万円を除いた実質収支額は5億2,109万円の黒字となりました。

務の入札にも導入するか検討中であり、来年4月までに結論を出したい。高値入札については現在、積算の見積書を入札に添付することになっている。これを分析し、指名から外すかを検討したい。

目には75%補助に減額されるほか、備品の購入経費は認められていない。地域から出ているこれらの要件の改善についての見解は。

検討する中で、見直ししていきたい。

いたが、実施にはシステム構築に多額の費用が掛かるため進んでいない。

## 民生費

問 出合い支援事業の23年度の実績は。

答 4回の開催で、8組のカップルが誕生した。そのうち1組は交際が進んでいるというアンケート結果が出ている。

問 現在故障している大更地区の愛宕山にある「愛の鐘」という時を知らせるオルゴールを鳴らす鐘の今後の対応は。

答 廃止の方向で進めているが、廃止する際には、貴重なオルゴールは保存し、活用方法があれば検討していく。

## 農林水産業費

問 花き研究開発センターの新品種開発の進捗状況は。

答 チリから導入した観葉植物「セネシオ」は、系統を選抜して増やしており、安定したところで品種登録に入りたい。リンドウの新品種は昨年度、鉢物用の「ジュエリーアシロ」と「プリンセスアシロ」を登録申請した。また、2月29日には「安代の秋空」が品種登録されている。

問 災害時の避難場所の確認や周知をどのように考えているか。

答 本年度、地域防災計画の概要版を作成して全戸配布し、避難場所の周知を図りたい。

## 消防費

問 災害時の避難場所の確認や周知をどのように考えているか。

答 本年度、地域防災計画の概要版を作成して全戸配布し、避難場所の周知を図りたい。

## 土木費

問 大更駅前線のまちづくり検討会の状況は。

答 本年度から地権者などの関係者への説明会を開催し、これからも数回の会議を予定している。開催した内容は「おおけ街づくりニュースとして」大更地区の人たちに回覧でお知らせしている。

## 商工費

問 第三セクター等経営検討委員会報告書の目的は。

答 第三セクターの存在意義を見極めていきたい。

## 平成23年度決算

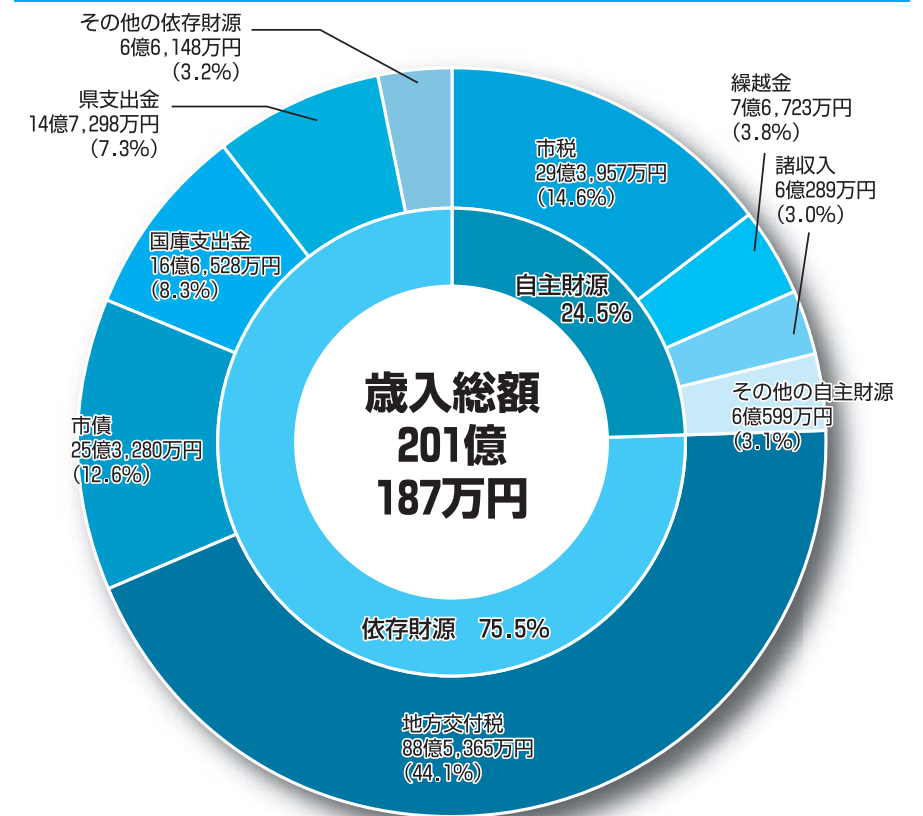


決算特別委員会(9月26日)

# 一般会計歳出総額は195億4,605万円

決算特別委員会(田中榮司委員長、渡辺義光副委員長)を9月21日から26日まで、市議会議場で開催しました。同委員会は、議長と議会選出監査委員を除く議員22人で構成。平成23年度一般会計のほか、特別会計7会計、企業会計2会計を審議し、全て原案のとおり認定することに決定しました(9月30日の本会議で一般会計は賛成多数、それ以外の会計は全会一致で認定)。ここでは、決算特別委員会での主な質疑などを紹介します(6ページまで)。

## 平成23年度一般会計歳入内訳



歳入総額  
201億  
187万円

### ■ 歳入のあらまし ■

23年度の一般会計歳入(収入)の合計は、201億187万円でした。その中で最も多かったのは、地方交付税の88億5,365万円(44.1%)、次いで、市税の29億3,957万円(14.6%)、市債の25億3,280万円(12.6%)などの順となりました。22年度と比べ、歳入全体で15億7,583万円増え、合併後最も大きい額となりました。

歳入を財源別にみると、自主財源が24.5%(49億1,568万円)、依存財源が75.5%(151億8,619万円)で、財政の自主性・安定性を示す「自主財源比率」は22年度よりも0.4%下がりました。

## 一般会計歳出

## 総務費

問 第三回臨時会で質問した設計業務の入札の低価格落札と高値入札に対するその後の市の対策は。

答 低価格落札については、最低制限価格制度を設計業



教育費

**問** 小中学校に整備したメール一斉配信システムの活用状況は。

**答** 昨年度全小中学校に整備し、加入率は70〜80%である。不審者情報などの防犯に関するものだけでなく、学校行事などに活用している学校もあり、これからも有効活用に努めたい。

特別・企業会計

■ 国民健康保険特別会計（事業勘定）

**問** 一般会計から2億円の法定外の繰入れをしても財源の不足を賄うことができないことから、本年度から国保税の引き上げとなったが、療養給付費負担金、財政調整交付金では多額の剰余金が発生している。補正予算の段階で調整できないか。

**答** 療養給付費負担金や財政調整交付金は、当該年度の国の負担金であり、医療費の増減や社会情勢など予測が難しいため、差が生じている。交付決定は年度末のため調整できない。

総括質疑

**問** 八幡平市清掃センター等管理運営委託事業は、新設最終処分場も含めて契約したということだが、金額が明示されていない。予算措置しない契約の実効性はあるのか。

**答** 将来、新設最終処分場も契約対象として公募し、契約締結後に新設分を追加する特殊なケースであった。行政事務手続きとして適切さに欠ける部分があったことは反省している。

**問** 市のホームページをフェイスブックに移行する考えはないか。

**答** フェイスブックを災害時の広報に活用できないか検討を進めているが、ホームページの移行は考えていない。

**問** 猛暑による事故を避けるため、今後の岩手山焼走りマラソン全国大会の開催時期の変更の考えは。

**答** 開催時期を含め、競技役員など全体の大会運営はこれから検証していかなければならないが、現時点では例年通りの時期に開催したい。

討論

反対 米田定男議員

決算認定の是非を判断する基本は、まずその前提である予算が住民の暮らしを踏まえたものになっているかどうかである。新庁舎建設事業は、それに反するものである。また、八幡平市清掃センター等管理委託事業に係る新設最終処分場の契約は、予算措置がされないまま契約行為がされたことは容認できない。以上のことから認定に反対する。

賛成 大森力男議員

我が国の経済は厳しい一方で、地方自治体の役割が大きくなってきている中、23年度の決算実績を見ると、実質収支額は5億2109万円の黒字であり、基金も全体額では、23年度末で92億3860万円まで増えるなど、財政運用は評価できるものと考ええる。また、松尾コミュニティセンター建築工事をはじめ、総合計画後期基本計画のもと、多岐にわたる事業が展開され、その努力を高く評価するものである。今後も財政状況を十分に配慮し、市の均衡ある発展と市民の一体感の醸成、市民の目線に立った市政運営に努め、市民の負託に応えるべく、計画的な予算の執行を願い、認定に賛成する。

10月1日 議員の日常廃止決定

議会改革調査特別委員会の第5回会議は9月14日、市役所で開かれました。この会議では、三つの小委員会からそれぞれ検討を行った項目の進捗状況が報告されました。

9月20日に市役所で開かれた第6回委員会では、検討を終了した項目の協議が行われ、左表の検討項目について決定しました。また、9月定例会に議員発議として「八幡平市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」を提出することにしました。この条例改正案は、議員が本会議や委員会などに出席したときの費用弁償のうち日当(500円)を廃止するものです(10月1日施行)。



9月20日に開かれた第6回議会改革調査特別委員会

議会改革調査特別委員会

■調査項目の検討結果(決定したもの)

| 分類     | 項目           | 検討結果                                                      |
|--------|--------------|-----------------------------------------------------------|
| 本会議・体制 | 通年議会         | 現在の任期中の導入は行わない。市議会として、通年議会について理解した上で、今後導入の必要性を検討する。       |
|        | 夜間休日議会開催     | 現行通り開催しない。市民などから要望があれば検討する。                               |
|        | 一般質問順番       | 現行通り通告の受け付け順とする。                                          |
| 常任委員会  | 視察旅費増額       | 予算額の増額はしない。予算総額の範囲で配分する。                                  |
|        | 審査報告内容       | 現行通り少数意見を報告する。                                            |
| 組織     | 正副議長選所信表明    | 正副議長の選挙時に議長または副議長になろうとする議員が、所信表明する機会を設ける。必要な事項については別に定める。 |
|        | 会派幹事長会議設置    | 設置しない。                                                    |
| 定数     | 日当廃止         | 9月定例会で廃止し、条例改正案を発議する。                                     |
| 法規     | 会議規則         | 議会議員全員協議会、会派代表者会議を公的な会議とする。                               |
| その他    | 議会運営委員会の代理出席 | 会派に所属する議員が議会運営委員会を欠席する場合、委員長が欠席する議員と同じ会派の議員の出席を求めることができる。 |

市政調査会事業

議会改革に関する研修会

八幡平市議会の改革の方向性は

議会改革に関する研修会を8月23日、西根地区市民センターで開催しました。議員間の議会改革に対する意識を共有するために開催されたもので、岩手県立大学総合政策学部の齋藤俊明教授が「八幡平市議会の改革―議会改革の動向から方向性をさぐる―」と題し講演しました。齋藤教授は、他市議会を例に、議会改革の実態や議会基本条例などを説明。「最も重要なのは、八幡平市議会がどのような議会を目指すのか共通目標を持つこと」と強調しました。



市議会の改革の方向性について語る齋藤俊明教授

宮古市・八幡平市議会合同研修会

2年ぶりの開催で交流を深める

宮古市・八幡平市議会議員研修会を10月9、10の両日、八幡平ロイヤルホテルで開催しました。姉妹都市である宮古市の議会との交流を深めるために毎年行われているもので、昨年は東日本大震災の影響で中止となったため、2年ぶりの開催となりました。今回は、石川啄木記念館学芸員の山本玲子さん(温泉郷)が「石川啄木の世界」と題して講演したほか、両市の議員同士で「宮古市の復興計画」をテーマに情報交換を行いました。



宮古市議会の震災への取り組みが報告された情報交換会

各種指標が示す財政健全度

市議会9月定例会では、23年度決算に基づく市の健全化判断比率と資金不足比率が報告され、いずれも基準を下回っています。

- ①実質赤字比率 標準財政規模に対する一般会計などの実質赤字の割合で、実質黒字であるため、該当しません。
- ②連結実質赤字比率 標準財政規模に対する特別会計など全会計の実質赤字や資金不足額の割合で、実質赤字や資金不足の会計はないため、該当しません。
- ③実質公債費比率 標準財政規模に対する地方債の償還金の割合で、13%（前年度比1.4%減）でした（18%を超えると、新たな市債の発行に知事の許可が必要）。
- ④将来負担比率 標準財政規模に対する一般会計など将来負担すべき実質的な負債の割合で、29.4%（前年度比12.2%減）でした。
- ⑤資金不足比率 水道など公営事業の資金不足額の割合。黒字決算であるため、該当しません。

■各会計の決算状況(金額は1万円未満を四捨五入)

| 会 計 名 |                | 収 入 額      | 支 出 額       |
|-------|----------------|------------|-------------|
| 一般会計  |                | 201億 187万円 | 195億4,605万円 |
| 特別会計  | 国民健康保険(事業勘定)   | 36億9,342万円 | 35億2,984万円  |
|       | 後期高齢者医療特別会計    | 2億2,863万円  | 2億2,719万円   |
|       | 国民健康保険(診療施設勘定) | 3億2,178万円  | 2億9,632万円   |
|       | 公共下水道事業        | 6億6,127万円  | 6億3,856万円   |
|       | 農業集落排水事業       | 10億8,133万円 | 10億7,091万円  |
|       | 浄化槽事業          | 4,548万円    | 4,158万円     |
| 企業会計  | 西根病院事業         | 収益的収支      | 7億 467万円    |
|       |                | 資本的収支      | 2,954万円     |
|       | 水道事業           | 収益的収支      | 4億9,168万円   |
|       |                | 資本的収支      | 1億4,559万円   |

※西根病院・水道事業企業会計の資本的収支の不足額は、「過年度分損益勘定留保資金」などで補てんしました